

最新医療機器としてPETというものをご存知でしょうか？MRIやCTと同様に画像診断に用いる機器の1つです。

MRIやCTを採用している医療機関は多くても、PETを導入している医療機関は少ないそうです。



<p><b>CT</b></p>	<p><b>Computed Tomography</b>(コンピューター断層撮影)の略。 レントゲン同様、X線を放射し身体を通過したX線を画像化したものです。レントゲンとの違いは、あらゆる方向からX線を放射し<b>3次元的な画像</b>が得られることです。</p> <p><b>長所</b> MRIより短時間で撮影が可能のため苦痛が少ない。とても小さな<b>0.5mm</b>ほどの癌細胞でも発見可能。<b>胸部</b>撮影が得意。</p> <p><b>短所</b> X線被曝はしますが人が1年間に自然界で被曝する量と同等といわれています。診断には<b>ヨード</b>を用いた<b>造影剤</b>を使用することも。</p>
	
<p><b>MRI</b></p>	<p><b>Magnetic Resonance Imaging</b>(磁気共鳴画像)の略。 体内にある水素原子のエネルギーを利用して、体内の画像を撮影する方法です。磁場の中に身体を入れて水素原子のエネルギーを収集して画像化しています。</p> <p><b>長所</b> 臓器の形状だけでなく<b>組織の状態</b>を確認しやすい。脳梗塞の初期診断やヘルニアなどの診断に有効。</p> <p><b>短所</b> 10~40分位かかり苦痛が大きい。<b>金属やペースメーカーに反応</b>してしまう。造影剤の<b>アレルギーに注意</b>。動きに弱く胸部の撮影は苦手。</p>
	
<p><b>PET</b></p>	<p><b>Positron Emission Tomography</b>(ポジトロン断層撮影)の略。 普通の細胞より糖を好むという癌細胞特有の性質を利用して、<b>癌細胞を発見する機器</b>です。糖に放射物質を付着させ体内に注入し、その物質の広がりを画像化しています。</p> <p><b>長所</b> 比較的<b>患者負担が少ない</b>。米国では<b>PET First</b>という言葉があり、癌を疑ったらまず第一にこの機器を用いるそうです。</p> <p><b>短所</b> <b>5mm</b>ほどの癌細胞しか発見できないといわれています。保険が適用にならない場合もあり、<b>自費だと10万円近く</b>かかります。こちらも被曝はしますが、人が1年間に自然界で被曝する量と同等といわれています。</p>
	

実際の治療に置いては、MRIとCTなど複数の撮影を行い診断を確定するなどの工夫をするそうです。それぞれの**長所短所を補いつつ**、診断をしていただけるみたいですね。

**6月5日(土)15時~厚木市文化会館にて市民講座開催!! 詳しくは薬局まで♪**